

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術の振興と発信		課(室)名	文化芸術振興課
	施策	文化芸術の振興		電話番号	087-839-2636
	基本事業	文化芸術活動の推進		事業実施主体	市
	事務事業	デリバリーアーツ事業		事業期間	平成20年度～

【事業全体概要】

事業の概要	市民が身近なところで生の優良な文化芸術に触れる機会を提供するため、コミュニティセンターや病院、老人福祉施設など市民の希望するところに音楽や伝統芸能などの文化芸術を出前公演する。事業の実施に当たり、企画・運営は本市が委託している高松市文化芸術財団が行い、会場準備や観客員は協力を団体である市民が行っており、協働運営の形態をとっている。また、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の連携市町に呼びかけ、23年度は、直島町、平成26年度～28年度はさぬき市でも事業実施している。平成29年度は、東かがわ市も参加予定である。
-------	---

30年度概要	高松市内で概ね15公演（瀬戸フィル音楽会、讃岐国分寺太鼓、落語、サーカスキャラバン等）を実施 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内の各市、町で各1公演を実施
--------	--

重点取組事業	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	----------	----	---------	-------------------

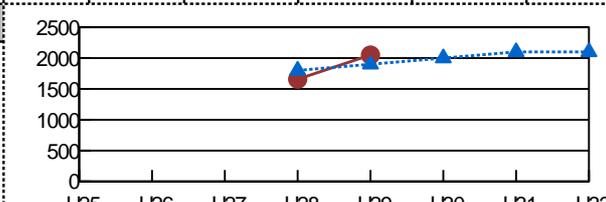
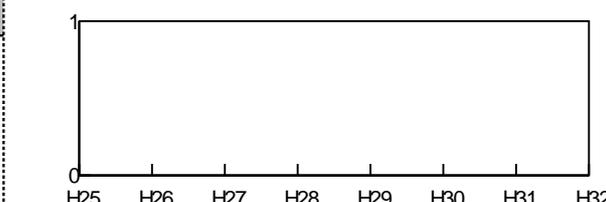
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民（広域連携中枢都市圏内市町を含む）
意図（どのような状態にしたいか）	生の優良な文化芸術を出前公演することで、身近に鑑賞できる機会を提供する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
開催回数	回		16	16	17	17

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
デリバリーアーツ事業鑑賞者数	人	目標値		1,800	1,900	2,000	2,000
		実績値		1,657	2,050		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 生の優良な文化芸術に触れる機会の提供という事業目的からも、一定以上レベルの演者の招聘を実施すると、支出予算の関係からも、おのずと事業開催回数は限定されるため、鑑賞者数を大幅に増加させることは難しいが、昨年度と比べ同回数の公演で、鑑賞者数が393人増加した。	(目標達成度)						(達成度) 107.9%
			35点				
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	6,573	6,600	6,200	6,226
（事業費）	[円]	4,270	4,245	3,924	3,950
（職員人件費）	[円]	2,303	2,355	2,276	2,276

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

前年度と同程度の回数を実施し、鑑賞者数は目標値を上回った。今後も、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏取組事業として、これまでに実績のない圏域内市町とも協働して取り組んでいく。
--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

市民参加、活動団体との協働をより一層推進したい。
--------------------------

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術の振興と発信		課(室)名	文化芸術振興課
	施策	文化芸術の振興		電話番号	087-839-2636
	基本事業	文化芸術活動の推進		事業実施主体	市
	事務事業	市民文化祭開催事業		事業期間	平成20年度～

【事業全体概要】

事業の概要	文化芸術団体の発表の場と相互交流の機会を提供するため、市民自らが主体的に文化芸術事業を企画・実施する市民企画提案型事業「アーツフェスタたかまつ」の開催と、各地区の特性を生かした学習発表や作品展示を行う合併町地区の文化祭の開催を支援する。		
30年度概要	文化芸術団体等の発表の場と相互交流の機会を提供するため、市民企画提案型事業「アーツフェスタたかまつ」を開催 国分寺町文化祭実行委員会補助金、香南町文化祭実行委員会補助金		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	市内の文化芸術団体の発表の場と相互交流の機会を提供するとともに、公演等の観覧者である市民に、生の文化芸術に触れる機会を提供し、その理解を深めてもらうことにより、本市の文化芸術振興に寄与するものとする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
市民文化祭開催日数	日		14	14	15	12

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	市民文化祭（アーツフェスタ）観覧者数	人	目標値		9,000	9,000	9,000	2,200
			実績値		9,770	9,012		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 参加団体数は前年度と同数であった一方、各公演の会場規模により鑑賞者数は減少したが目標は達成できた。							(達成度) 100.1% 35点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	13,092	12,750	12,114	12,323
（事業費）	[円]	8,486	8,039	7,562	7,771
（職員人件費）	[円]	4,606	4,711	4,552	4,552

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 市民文化祭の参加団体が固定化してきており、幅広い団体が新規に参加できるよう、また、観覧者数が増加するよう広報やPRを見直す必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 多くの市民が参加、創造の機会を得られるよう取り組む必要がある。			

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術の振興と発信		課(室)名	文化芸術振興課
	施策	文化芸術の振興		電話番号	087-839-2636
	基本事業	文化芸術活動の推進		事業実施主体	市
	事務事業	文化芸術活動推進事業		事業期間	平成 20年度～平成 27年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民が文化芸術の楽しさと豊かさを共有できるまちづくりのため、優れた文化芸術鑑賞の機会づくりや発表の場づくりなどの文化振興事業を推進する。				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校巡回芸術教室事業</li> <li>・音の祭り開催事業</li> <li>・劇団四季「こころの劇場」開催事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化団体活動補助事業</li> <li>・ものづくりふれあい教室事業</li> <li>・文化芸術活動補助事業</li> </ul>			
30年度概要	学校巡回芸術教室・学校巡回能楽教室 文化団体活動補助事業 音の祭り開催事業 ものづくりふれあい教室 劇団四季「こころの劇場」共催事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	自主的な文化芸術活動の促進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
年間補助交付件数（文化芸術活動補助事業）	件		45	52		45

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	文化芸術活動補助事業における参加人数	人	目標値		2,500	2,500		2,500
			実績値		2,691	3,060		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 限られた予算内で52件の補助事業を実施し、各事業への参加者は目標を上回った。 (目標達成度)							(達成度) 122.4%
								35点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[円]	41,266	41,778	42,314	44,136
（事業費）	[円]	22,841	22,936	24,105	25,927
（職員人件費）	[円]	18,425	18,842	18,209	18,209

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

文化団体活動補助事業は、件数・参加者とも前年度より増加し、文化団体の自主的な活動の促進に繋げることができた。  
学校巡回教室（芸術・能楽）は、開催校数は例年並みであったものの、希望校数が減少しており、メニューとPRに工夫が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

今後においても、文化芸術団体の活動を支援するに当たり、情勢の変化等に併せて補助の仕方の再検討等、より適切に実施することとする。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術の振興と発信		課(室)名	美術館美術課
	施策	文化芸術の振興		電話番号	087-823-1711
	基本事業	文化芸術活動の推進		事業実施主体	市
	事務事業	美術教育普及事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	短期実技講座などを開講し、幅広い美術の表現領域の体験や、鑑賞プログラムを開催する。美術館展覧会の鑑賞教育等学校活動分野への積極的な活用を図るために、サンクリスタル学習参加校を美術館でも受け入れる美術館学習を実施する。			
30年度概要	短期実技講座などを開講し、幅広い美術の表現領域の体験や、鑑賞プログラムを開催する。また「こども+」で未就学児はじめ世代を超えた普及プログラムも展開する。美術展鑑賞を学校行事等で活用してもらうために、美術館学習等の実施も積極的に行う。			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）	

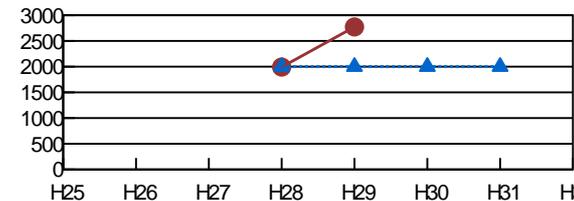
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	様々なワークショップ等の開催により、制作を通して、美術の楽しみ方の幅や関心を高めるとともに技術も修得してもらう。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
美術講座実施回数	回		63	71	70	70

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
美術講座参加者数	人	目標値		2,000	2,000	2,000	2,000
		実績値		1,992	2,772		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） こどもアートスペースの活動及び館長講座などメニューが増え、未就学児はじめ様々な世代の参加が増え、達成できた。 							(達成度) 138.6% 35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	11,688	12,518	11,896	12,127
（事業費）	[円]	940	1,527	1,274	1,505
（職員人件費）	[円]	10,748	10,991	10,622	10,622

【評価】

評価ランク（A～D）	<b>A</b>	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	<b>継続</b>
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
リニューアルにより新設したこどもアートスペースの活用や、館長講座等の事業が軌道に乗り、また以前から行っている事業も回数の増加及び内容の充実により、全体としてリピーターを含め利用者が増えた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
経費の見直しを図り、事業をスリム化すると共に、実施回数や参加者の増加を図る努力を実施する。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術の振興と発信		課(室)名	文化財課
	施策	文化芸術の振興		電話番号	087-861-4502
	基本事業	文化芸術活動の推進		事業実施主体	市
	事務事業	菊池寛顕彰事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	郷土が生んだ文豪「菊池寛」を顕彰するとともに、文学展及び文芸講座等の文化活動事業を実施し、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与する。また、香川菊池寛賞等の選奨を行うことにより、郷土において創作活動を続けている優れた新人の発掘及び育成並びに地元の文化の振興を図る。				
30年度概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>文芸講座及び読書感想文講座の開催</li> <li>マンガ「菊池寛と日本文学史（仮称）」の製作事業</li> <li>文学展及びひるさと文学の開催</li> <li>香川菊池寛賞及び菊池寛ジュニア賞の作品募集選奨事業</li> <li>文藝もずの発行</li> <li>サンクリスタル学習の実施</li> </ul>				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	市民（小学生から高齢者）
意図（どのような状態にしたいか）	郷土が生んだ文壇の大御所「菊池寛」を顕彰するとともに、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与する。また、郷土において創作活動を続けている優れた新人の発掘及び育成並びに地元の文化の振興を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
開催講座数	講座		12	12	12	12
文学展開催日数（企画展、記念講演会）	日		27	33	33	33

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
受講延べ人数	人	目標値		790	790	790	790
		実績値		769	721		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 定員を上回る講座もあったが、日どりや天候等の影響により定員を下回る講座もあったため、年間の受講延べ人数は目標値を下回る結果となった。 		(目標達成度)					(達成度) 91.3% 31点
文学展観覧者数（企画展、記念講演会等）	人	目標値		2,500	2,500	2,500	2,500
		実績値		3,551	3,618		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 文学展では時代を超えて愛されている没後90年の芥川龍之介を取り上げ、人気ゲームとのコラボレーションを実施したことにより、文学展観覧者数等は目標値を大幅に上回った。また、この取組により、大学生等の観覧者が増加し、若年層に対しても当該事業の成果を得ることができた。 		(目標達成度)					(達成度) 144.7% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	13,786	14,098	13,396	21,111
（事業費）	[円]	6,109	6,247	5,809	13,524
（職員人件費）	[円]	7,677	7,851	7,587	7,587

【評価】

評価ランク (A～D)	<b>A</b>	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	<b>継続</b>
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

菊池寛の功績を顕彰するとともに、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与するため、「香川菊池寛賞」や市内の小・中学生を対象とする「菊池寛ジュニア賞」の作品募集選奨事業を行った。また、市民が文学に触れる機会を提供するため、文学展をはじめ文学探訪や記念講演会、文芸講座などの文化活動事業を実施したことにより、地域に根ざした文化芸術の普及と振興に効果があった。ただし、時代の経過とともに、文豪「菊池寛」としてのイメージが少しずつ薄れてきているとともに、事業に携わっている人々が高齢化してきている。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

文学展、文芸講座などのちらし・ポスターについて、より多くの市民に興味や親しみを持ってもらえるように工夫する。文豪「菊池寛」のイメージの希薄化、事業関係者の高齢化については、住民意向を踏まえた中長期的視点から改善の余地がある。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術の振興と発信		課(室)名	文化芸術振興課
	施策	文化芸術の振興		電話番号	087-839-2636
	基本事業	文化芸術活動の推進		事業実施主体	市
	事務事業	アート・シティ高松プロモーション事業		事業期間	平成28年度～平成34年度

【事業全体概要】

事業の概要	文化芸術を通して、市民が生き生きと心豊かに暮らせるまち、高松を実現するため、「高松市文化芸術振興条例（平成25年12月制定）」や「高松市文化芸術振興計画（平成27年3月策定）」に基づき、アーティスト・イン・レジデンス事業、アートディレクター推進事業、0才からのコンサート事業、まちなかパフォーマンス事業を実施する。				
30年度概要	アートディレクター推進事業 アーティスト・イン・レジデンス事業 0才からのコンサート事業 まちなかパフォーマンス事業 (まちなかコンサート事業)				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	文化芸術に容易に親しむことができる環境を整えることにより、市民の活動の場及びあらゆる世代に芸術に触れる機会の拡充が図られる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
まちなかパフォーマンス事業イベント開催日数	日		15	14	17	19

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	まちなかパフォーマンス事業観覧者数	人	目標値		20,870	65,000	67,500	70,000
			実績値		87,840	100,720		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 155.0%
		<p>平成23年度の開始以来、事業全体の観覧者数は増加している。平成29年度は、7750人増となった大道芸フェスタや、5500人増となったMusic Blue Fes等、台風のため1日中止となった街クラシック以外の事業で、すべて前年比増となっている。</p> <p>(目標達成度)</p>						35点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	24,981	41,464	39,674	43,476
（事業費）	[円]	24,981	17,911	16,913	20,715
（職員人件費）	[円]		23,553	22,761	22,761

【評価】

評価ランク（A～D）	<b>A</b>	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	<b>拡充</b>
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
アーティスト・イン・レジデンス事業、アートディレクター推進事業の定着促進を図ったほか、まちなかパフォーマンス事業の内容充実にも努めた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
平成30年度に次期文化芸術振興計画を策定し、文化芸術の担い手が協働・連携するプラットフォームづくりを進めるとともに、平成31年度の瀬戸内国際芸術祭の開催効果が最大限に高まるよう、計画に登載する各事業の実施に努める。また、アートディレクター推進事業は、その成果として平成30年度に子ども演劇ワークショップを実施する。			